

買物は投票だ。  
資源循環の社会経済へ、  
地産地消を推し進める政策を



NEWS!

2021. 10月号

### 使い捨ての生活からの脱却で持続可能な地球環境を次世代に

[発行] NPO 法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク

●〒565-0842 吹田市千里山東 1-14-26 ほぼエコcafé&Gallery NAZ(ナーズ)内

●年会費 1 口 2000 円(個人 1 口以上、学生半口以上、団体 3 口以上、賛助会員(会社)5 口以上)

●郵便振替 00920-8-154437 ●TEL06-7222-800 ●E-mail greencon@g2.xrea.com ●http://www.greencon@g2.xrea.com



水の安全、誰もが安心して飲める権利

当たり前なのが、置き去りにされていた

給水スポット普及活動の原点。普及啓発のための移動式給水機の購入  
のクラウドファンディング達成しました!! 263 万円!



プラスチック  
ごみ減らそう

コロナ禍での 2 年間、私たちの生活のリズムには「手洗いうがい」が普通になりました。日本における感染症対策の効果は、安全な水のお蔭で、諸々の雑菌を除去でき、一人ひとりが継続して実践した市民の力と言えるでしょう。

この 2 年間で露呈したのは、各感染症から国民の命を守る保険医療体制も、行政改革と規制緩和により、業務の縮小、廃止、民間委託などで十分な体制がとれず、対応が後手後手にまわってしまいました。とくに大阪においては荒まじいばかりの公務員削減と公営事業をぶっ壊すとして、保健所の激減、公立病院の廃止などで、保健所機能がマヒ、公立病院激減で感染症患者の受け入れ先が不足、最大 2 万人近くが自宅待機を余儀なくされ、コロナ感染者数と死者数が全国ワースト 1 という実態でした。

安全な水の提供は、命の維持になくてはならない公営事業のひとつですが、全国で民間委託がすすんでいます。さらに大きな問題は、老朽化した水道管の取り換え工事が大阪市では、民間発注したものの請負業者が決まらない「儲からない事業」として、工事は先延ばしされています。和歌山市の水道橋の崩落など、何を専決に私たちの税金を使うのか、各位の住んでいる自治体のチェックと意見を言うことが大切です。

今一度、命の水の保全を考えてみる機会として、取り組んでいます。

大阪での給水スポット活動の予定です。

**エコ縁日** 10 月 30 日(土) 11 時~15 時 30 分

花博記念公園(鶴見緑地公園駅)

噴水特設会場で生音楽あり、各ブースでは体験あり。

☆大阪市水道局の「水色スイッチポータブル」で実践します。

参加費無料 ~マイボトル持参よろしく~

**大阪かしわら芸術祭 2021** 2 年に一回 各ジャンルのアーティスト作品

10 月 31 日~11 月 7 日 まち全体が会場。

カタシモワイナリーなどで 給水スポットを設置。11 月 3 日、6 日、7 日の 3 日間

**関大前ほぼエコcafé&Gallery NAZ** 営業はいつでも冷たいお水無料で提供しています。



2021 東京オリンピック江の島  
会場にて RefillJapan が運営